

学校だより



楓っ子

多可町立中町南小学校
令和3年12月6日(月)発行
ホームページアドレス
https://www.town.taka.lg.jp/minamisho/
E-mail: naka-minami@edu.takacho.jp
電話 32-0011

子どもたちが頑張った2学期

学校長 足立 徳昭

毎朝、東門付近に立ってあいさつをしていると、子どもたちは大きな声で「おはようございます」とあいさつをしてくれます。中には立ち止まって「おはようございます」と丁寧におじぎをしてあいさつしてくれる子どももいます。どのあいさつもとても素敵なあいさつです。この2学期は、子どもたちの元気な声や笑顔に励まされて一日がスタートし、今日も頑張ろう！という前向きな気持ちで過ごすことができました。

2学期も終わりに近づきました。今学期は、緊急事態宣言の中で始まりましたが、運動会やマラソン大会など大きな行事の中で活躍した子どもたちの姿や日々教室で見せる真剣な学びの顔など、心に残るシーンが数多くありました。運動会の紅白対抗演技で一生懸命競争する子どもたち、特に6年生は、小学校最後の運動会として自分たちで自主的に取り組んで開会セレモニーを成功させました。マラソン大会では、スタートした全児童が、足が痛くてもお腹が痛くてもゴールまで完走しました。そして、日々の生活では、タブレットを毎日のように使い、学習に励んでいました。

人がよりよく生きるためには、素直さや優しさ、そして新しいものにチャレンジしていくことが大切だと思います。学校生活の中では、子どもたち同士がふれあい、学び合い、日々成長している様子がたくさん見られました。嬉しいことばかりではなく、答えを間違えて残念に思ったり、友だちとけんかをして泣いたりすることも成長には大切な経験です。

2学期は色々な学習があり、その時々保護者の皆様には学校にご協力いただき、子どもたちの成長を助けていただいたことに心より感謝申し上げます。こうした様々な機会でのお子様の姿を個別懇談会でお伝えしたいと思います。また、学校では分からないお子様の様子も伺いながら、子どもたちを素直に優しく、そして前向きに取り組む子に育てていきたいと考えています。分からないこと等がありましたら、担任によく聞いていただき、有意義な懇談会になりますようよろしくお願いいたします。



12月の行事予定

日	曜	行事予定
1	水	いのちと人権の日
2	木	定時退勤日
3	金	S C
4	土	北播書道展
5	日	北播書道展
6	月	朝会
7	火	放課後子ども広場
8	水	委員会活動
9	木	定時退勤日
10	金	登校指導 S C
11	土	
12	日	
13	月	楓っ子タイム 個別懇談会①
14	火	個別懇談会②
15	水	個別懇談会③
16	木	個別懇談会④ 定時退勤日
17	金	個別懇談会⑤
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	下校指導 放課後子ども広場
22	水	
23	木	地区児童会 給食最終 大掃除 定時退勤日
24	金	2学期終業式
25	土	
26	日	
27	月	冬季休業日
28	火	冬季休業日
29	水	年末休日
30	木	年末休日
31	金	年末休日

※ S C (スクールカウンセラー) 来校

1月の主な行事予定

- 1日(土) 元日 いのちと人権の日
- 3日(月) 年始休日
- 4日(火) 冬季休業日
- 5日(水) 冬季休業日
- 6日(木) 冬季休業日
- 7日(金) 3学期始業式
- 11日(火) 朝会 登校指導
放課後子ども広場
- 12日(水) 委員会活動
- 14日(金) 漢字計算力統一テスト S C
- 15日(土) 北播駅伝カーニバル
- 17日(月) 朝会 避難訓練 防災学習
- 18日(火) 放課後子ども広場
- 21日(金) 大掃除
- 22日(土) オープンスクール
- 24日(月) 振替休業日
- 25日(火) 下校指導 放課後子ども広場
- 31日(月) 朝会

個別懇談会

12月13日(月)から12月17日(金)の期間、個別懇談会を実施します。本年度から通知表の簡素化に伴い、全ての家庭を対象としてお子様の生活や学習について、担任と話し合ってください。懇談時間は、15分程度となっています。

なお、懇談会期間中、急な担任の出張等の関係で日時を変更させていただく場合があります。その場合は、できるだけ早くお知らせします。

また、働き方改革の観点から、懇談は16時40分からを当日の最終としますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



にこにこ集会（全校生）

11月10日（水）全校生による「にこにこ集会」がありました。集会では、標語・詩・作文・ポスターの作品発表を行いました。標語の部は3人、詩の部は3人、作文の部は4人、ポスターの部は9人と合計19人の代表者が、一人一人自分の作品を全校生に発表をしました。

子どもたちの発表には、「友だち」「仲良し」「笑顔」「いじめのない学校」などのキーワードが多く、友だちと一緒に楽しく過ごしたいといつも願っていることがわかりました。本日の集会を通して、中町南小学校の子どもたちが、今までよりもさらに、お互いのことを思いやりながら生活できるようになってくれることと思います。なお、高学年の作文は、今月号以降の学校だよりで随時紹介していきます。

【人権作文】

「思いやりが人々を救う第一歩」 6年

今、世界中に新型コロナウイルスに感染している人がたくさんいます。その感染拡大防止のために、長期間学校が休校になりました。休校が始まると、家にいてもだんだんやる事がなくなり、どんどんひまになっていきました。休校中は、友だちと会えず悲しい気持ちでした。ニュースでも、ストレスを感じている子どもがいてと伝えられていました。日常と違うことをやっていると、ストレスを感じやすいのだと思います。今年の休校の時は、友だちと会えなかったことがストレスになっていたと気づきました。今年みたいに、毎日学校に行けたら、私はストレスを感じなかったんだと思いました。

この休校の原因になった新型コロナウイルスに関しては「コロナ差別」という言葉をニュースで聞きました。例えば、看護師さんが子どもが通う保育園の他の保護者から「保育園に通わせないで。」と言われたのです。これは、暴言だと思います。私は、その看護師さんは、子育てをしながら何とか人を助けようと頑張っているのに、こんなことを言われたら傷つくし、落ち込んでしまうと思いました。また、新型コロナウイルス感染者の家に石を投げつけたり、タクシーの乗車を拒否されたりという「コロナ差別」があった事も知りました。東京在住の人が、青森県の実家に帰省中、その家の玄関近くに落ちていた紙切れに「コロナうつるから、帰ってください。」と書いてあったそうです。その人は、健康チェックも十分にしていまして帰省していたのに、内容を読んで悲しんだり傷ついたりしたんだろうと思いました。私は、新型コロナウイルス感染拡大により、みんながストレスを感じたり「コロナ差別」のようないじめが起きたりして、嫌な思いをしている人がたくさんいることを知りました。

「コロナ差別」をなくすために必要なことは、マスクや消毒液などの対策をすることも大切ですが、私は相手の立場に立って思いやりの気持ちをもって人と接したり行動したりすることが大事だと思います。そういった思いやりの心が「コロナ差別」をなくし、明るく平和な社会をつくっていくと思います。周りの人への温かい気持ちが、コロナウイルスなどの病気に感染した人だけではなく、世界中の困っている人々を救うための第一歩だと思います。

これから、私は思いやりの気持ちを持って、友だちに接していきたいと思います。もし、困っている友だちを見つけたら、「どうしたの。」と優しく声をかけていきたいです。そして、私に何ができるかを一緒に考えていきたいです。

校内マラソン大会（全校生）

11月26日（金）全校生による校内マラソン大会を実施しました。開会式の後、1年生から順番に走りました。低学年は1200m、中学年は1400m、高学年は2000mを走りました。天気も良く走っていると少し汗ばむぐらいの陽気でしたが、スタートした子どもたちは全員完走しました。6年生の最後の走者がトラックに戻ってきた時には、数人の友だちが応援に駆け寄り一緒にゴールするという温かい光景も見られました。応援に来ていただいた保護者の皆様、コロナ禍の中ではありますが、たくさんの拍手で応援をいただきありがとうございました。



この指とまれ（ボランティア活動）

11月24日（水）6校時、高学年による委員会活動がありました。中町南小学校では、毎年「この指とまれ」のボランティア活動の一環として、地域の老人クラブの方に来ていただき、校内の草引きや落ち葉集め等をしていただいています。今回は、園芸委員会の子どもたちと一緒に、楓っ子像の花壇等に花植をしていただきました。コロナ禍の中で、本年度初めての活動となりましたが、和やかな雰囲気の中で校庭をきれいにさせていただきました。ありがとうございました。



おまつり（2年生）

2年生が生活科の学習で、おまつりを計画して友だちと交流して楽しみました。開会宣言の後、「すまいるおんど」や「マスカット」などのダンスを踊りました。そして、最初は月組の屋台で遊びました。屋台には、「なんでもたたき」「しゃてき」「さめつり」などがありました。後半は、雪組の屋台「ヨーヨーつり」「はこのなかみは何だろう」などで遊びました。屋台を運営する子どもたちもそこで遊ぶ子どもたちも、ルールを守り友だちと協力しながら楽しく過ごすことができました。



卒業証書づくり（6年生）

多可町の小学校6年生は、毎年ふるさと多可町を愛する心を育むために、地域の伝統や特性を生かした体験活動を行っています。その一環として、杉原紙研究所の人に指導を受けながら、手漉き和紙杉原紙で卒業証書づくりを行っています。

多可町の卒業証書は、見開きのフォルダに入れて渡すことになっています。卒業式には、世界で1枚だけのオリジナル卒業証書を持って卒業します。

